


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	教育庁	所管課	幼児教育推進センター	
施策名	幼児教育・子育て支援の充実			施策コード	11041	
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)A	
知事公約	C0056	総合戦略	A1211 A1212 A1213	国土強靱化	-	事務事業数 2
SDGs				総合判定	順調	

### 【1 Plan】

施策目標	好奇心や探究心、豊かな感性など生涯にわたる基礎づくりを図るため、質の高い幼児教育・保育活動の提供を促進する。					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組の充実</li> <li>・幼児教育施設間の交流・意見交換の機会確保</li> <li>・園内・園外研修の機会確保</li> <li>・助言体制の充実</li> </ul>					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭、保育教諭及び保育士を対象とした研修の実施</li> <li>・幼児教育施設に対する助言機会の提供</li> <li>・幼保小連携・接続の促進</li> <li>・幼児教育に関する情報提供の充実</li> <li>・基本方針に掲げる施策の推進 など</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	13,707	R2	13,804	R1	14,007
施策のイメージ						

### ＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
幼児教育施設と小学校との連携促進	目標値		-	73.0	89.5	100.0	103.5%	A
	実績値		-	88.2	92.7	-		
設定理由	域内の幼児教育施設と小学校間の意見交換や合同研修会の機会を設けている市町村の割合							
分析(主な取組と成果)								
チェックシートやハンドブックを作成し、幼小連携・接続の重要性の啓発や地域の取組を好事例として紹介した。 R2の実績値なし(R3.9予定)								

指標名②	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
幼児教育と小学校教育の円滑な接続	目標値		-	65.0	76.7	100.0	106.7%	A
	実績値		-	72.1	81.9	-		
設定理由	域内の幼児教育施設の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合							
分析(主な取組と成果)								
チェックシートやハンドブックを作成し、幼小連携・接続の重要性の啓発や地域の取組を好事例として紹介した。 R2の実績値なし(R3.9予定)								

指標名③	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
幼児教育施設が活用しやすい研修体制	目標値		40.0	60.0	80.0	100.0	125.0%	A
	実績値		33.3	100.0	100.0	-		
設定理由	遠隔システムやオンデマンド教材の活用等により各管内で受講することのできる研修の割合							
分析(主な取組と成果)								
コロナウイルス感染症の影響によりセンター主催の研修を全てオンデマンドにより実施。受講の利便性が増し受講者数の増加に繋がった。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	幼児教育・子育て支援の充実	施策コード	11041
---------------	-----	---------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	幼児教育施設と小学校との連携促進	-	88.2	92.7	89.5	A
	幼児教育と小学校教育の円滑な接続	-	72.1	81.9	76.7	A
	幼児教育施設が活用しやすい研修体制	33.3	100.0	100.0	80.0	A
目標(指標)の達成状況	モデル事業やネットワーク会議を通じ、幼小連携・接続の重要性が市町村等に浸透しつつある。 感染症の影響により、全ての研修がオンデマンド教材の配信による実施となり、幼児教育施設が活用しやすい研修体制の整備が進んだ。				指標総合判定	A
連携状況	センター併任課である学事課、総合教育推進課、子ども子育て支援課とともに幼児教育の質向上に向け、有識者と意見交換(「幼児教育推進協議会」)等を通じ各種施策を企画・実施している。				連携判定	○
緊急性優先性	全ての幼児教育施設における保育者の資質・能力の向上に向けた各種施策を着実に進めていくための財政措置の拡充を図ることを要望している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	幼小連携・接続の重要性に関する市町村等との認識共有やオンデマンドの活用による研修参加が進んだが、各園における園内研修の充実などに課題があり、引き続き質の高い幼児教育・保育活動の提供促進に向けさらなる取り組みが必要。				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	市町村首長部局や教育委員会職員を対象に幼児教育と小学校教育の連携・接続の重要性や、その体制構築について理解促進を図るための研修を各教育局が振興局と協力して実施し、地域における幼児教育推進体制の充実を図る。
②	引き続き、相談員をリモートを含めて派遣するほか、保育場面紹介のデジタル教材の提供や公開保育を他の幼児教育施設が視聴できるよう、オンラインによる配信や動画教材を作成するなど助言体制充実を図る	
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況 (R3.3時点)	
R3年度二次政策評価		

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小連携・接続の重要性について理解促進を図るため、市町村の行政職員を対象とした「幼小連携・接続担当者研修」の実施やモニタリング事業を通じ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組を進める。</li> <li>・オンライン公開保育やオンデマンド教材の充実を図るとともに、幼児教育以外の専門知識を有する相談員の委嘱など活用しやすい助言体制の構築を図る。</li> </ul>

<b>令和3年度 補助指標調書①</b>	施策名	幼児教育・子育て支援の充実	施策コード	11041
----------------------	-----	---------------	-------	-------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
幼児教育施設が活用しやすい助言体制		目標値	-	100.0	100.0	100.0	50.0%	D
		実績値	-	78.0	50.0	-		
設定理由	幼児教育施設等において各振興局（教育局）管内に配置された「幼児教育の専門性を有する人材」を活用して園内研修等が行われた管内の割合							
分析（主な取組と成果）								
施設を訪問しての助言に加え、リモートによる助言を実施することにより園内研修の促進に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響から外部講師による研修を手控えた園が増加した。								

補助指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

